



# *The Global Alliance for Sustainable Supply Chain*

ソリダリダード・ジャパン 連続ウェビナー「持続可能な商品作物サプライチェーン」  
「持続可能な国際商品サプライチェーン：変化は一人じゃ起こせない～ パートナーシップづくりの挑戦」

## 第5回ウェビナーパネルディスカッション 「持続可能なコットンの生産と貿易」

一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン  
代表理事 下田屋 毅

# スピーカー・プロフィール



## 下田屋 毅

Takeshi Shimotaya

一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン  
代表理事

<http://g-assc.org/>

日本と欧州とのCSR／サステナビリティの懸け橋となるべくSustainavision Ltd.を2010年英国に設立。ロンドンに拠点を置き、日本企業に対してCSR／サステナビリティに関する研修、関連リサーチを実施。2012年より「英国CMI認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格講習」を日本にて定期開催している。

2017年一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン（アスク）を日本にて設立、日本企業のサプライチェーン上の人権、労働問題、環境問題の課題解決に向けた取り組み（[外国人労働者ラウンドテーブル](#)など）を海外のイニシアティブとの連携を行いながら進めている。またCotton2040（コットン2040）という世界の綿花に関わる環境・社会課題の解決に向けたイニシアティブにおいてサステナブル・コットンを推進するべく日本の企業に働きかけを行い活動を行っている。

1991年大手重工メーカー入社、工場管理部にて人事・総務・採用・教育・給与・労使交渉・労働安全衛生などを担当。労働安全衛生主担当として、工場の「安全衛生内部監査制度」を企画・導入。環境ビジネス(再生可能エネルギー／R.P.F.製造)新規事業会社立上げ後、2007年渡英。英国イースト・アングリア大学環境科学修士、英国ランカスター大学MBA修了。執筆講演多数。



# 一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン (ASSC) 概要



**ASSCは、国際的な連携のもと、持続可能なサプライチェーンの構築に取り組むNGOです。**



一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン (アスク：ASSC)は、企業、労働組合、NGO/NPOの連携を通じて、企業のサプライチェーン上の環境・社会課題解決に取り組むをするために、企業とともに行動を起こす団体として設立いたしました。

Photograph: Damon Coulter/Barcroft Image

# 一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン (ASSC) 概要



## 1. イニシアチブの推進

- (1) 海外イニシアティブ  
Cotton2040
- (2) 国内イニシアティブ
  - ①外国人労働者ラウンドテーブル
  - ②コットンに関する日本のイニシアティブ
  - ③サトウキビに関する日本のイニシアティブ

## 2. プロジェクトの実施

- (1) 人権デューデリジェンスプログラム
  - ①人権影響評価
  - ②国別人権影響評価、実態調査
- (2) CSR調達プログラム
  - ①各種方針策定支援
  - ②SAQ作成支援、社会労務監査の実施
  - ③苦情処理メカニズム/サプライチェーン・モニタリング
  - ④キャパシティ・ビルディング

## 3. セミナーの開催

- (1) ASSC定例セミナー  
毎月サプライチェーンに関するセミナーを開催
- (2) ASSC特別セミナー  
他団体との連携によるセミナー・ウェビナーの開催
- (3) ETIエッセンシャルズ研修  
英国Ethical Trading Initiativeとの連携によりCSR調達の基礎を学ぶ研修を開催。

## 4. 情報提供と情報発信

- (1) 海外・国内に関する情報提供
- (2) 海外・国内への情報発信

## 綿花に関わる環境・社会課題



コットン農家における課題

- 強制労働・児童労働
- 農薬と化学肥料の不適切で過剰な使用
- 土壌の劣化
- 小規模の綿花農家の貧困
- 水資源管理
- 将来的な土地利用に関する圧力への適応



# コットンの生産背景



*The Global Alliance for Sustainable Supply Chain*



## コットンの生産背景



*The Global Alliance for  
Sustainable Supply Chain*



**ASSC**

**The Global Alliance for Sustainable Supply Chain**



# Cottonの生産背景

# Cotton Production Background





## コットンの生産背景



The Global Alliance for  
Sustainable Supply Chain





## サステナブルコットン・コトンの必要性

コットンは、世界の繊維部門で使用される全繊維の約25%を占め、約2億5000万人の生活を支えている。

コットンの生産は、環境、社会、経済に次のような大きな課題をもたらす。

- 水不足と水質の問題、農薬や肥料の不適切で過剰な使用、土壌流出
- 小規模農家の低収入、強制労働と児童労働、そして価格の変動性。





# サステナブル・コットンとは？

サステナブル・コットンとは、環境への影響を最小限に抑えながら、生産レベルを維持できる方法で栽培され、長期的な環境の制約と社会・経済的な問題に対応しながら生産者の生計とコミュニティを支えることができるもの。

- サステナビリティのスタンダードと認証スキームは、サステナブルでない綿花の生産に関する問題解決を目的としている。
- 持続可能な慣行について農家にガイダンスを提供し、特定の要件を満たしていることを買い手に保証する。
- 企業が調達するコットンの持続可能性を改善するには、サステナビリティに配慮されたスタンダードまたは認証に基づいて生産されたコットンを調達することが必要となる。
- サステナブル・コットンの各スタンダードには違いがあるが、1つ以上のサステナブル・コットンのスタンダードからのコットンを調達することで、環境的、社会的、および経済的に大きなメリットがでてくる。

## 環境:

- ☑ 土壌の健全性の向上
- ☑ 生物多様性の向上
- ☑ 水使用量の削減
- ☑ 化学肥料の使用量の削減
- ☑ 化学農薬の使用量の削減

## 社会・経済:

- 👍 農家、労働者、コミュニティにディーセントワークを促進
- 👍 農家の収益性向上を支援
- 👍 消費者からの信頼と信用を高める

## サステナブルコットン・コトンの必要性

# サステナブル・コトンの影響

サステナブル・コトンのスタンダードと認証スキームは要件が異なりますが、通常は以下のような共通の利点があります：



農場での有害化学物質の使用を減らす、もしくは化学物質を使用する場合の安全な取り扱いと効率的な使用；



灌漑畑でのコットン栽培を行う際の過剰な水使用を削減。これは、他の地元の水利用者と自然の生息地、特に水不足の地域で利点がある；



収穫量の増加により、綿花生産者と労働者の貧困を削減する

これらの各問題に取り組むことは、業界の長期的な成長性と持続可能性にとって重要です。

様々なサステナブル・コトンの [スタンダードと認証スキーム](#)、それらが何に重点を置いているか、それらの共通点と相違点を理解することは、より持続可能なコットンを調達しようとしている企業にとって、重要な第一歩です。このガイドは、持続可能な栽培を実践しステークホルダーからの認知度が高い、有名なスタンダードと認証スキームに関する情報を提供します。



## サステナブルコットン・コトンの必要性

# サステナブル・コットンとは？

以下の団体が進めているサコットンに関するスタンダードによって調達されるコットンをサステナブル・コットンと定義しています。

- ベター・コットン・イニシアチブ (BCI)
- コットン・メイド・イン・アフリカ (CmiA)
- フェアトレード
- myBMP
- オーガニック・コットン：有機農法は、国の農業基準と2つの基準団体（OCS、GOTS）によって定義されている
- リサイクルコットン：Global Recycled Standard (GRS)、the Recycled Claim Standard (RCS)
- U.S.コットン・トラスト・プロトコル

コットン・コネクト (Cotton Connect) の REEL code、レスポンシブル・ブラジリアン・コットン・プログラム (ABR)、コットン・リーズ (Cotton LEADS) とバイエルの e3などのプログラムも、サステナビリティ・プログラムを提供しており、企業のCSR/サステナビリティ調達に役立つ。

	 Better Cotton Initiative	 Cotton Made in Africa	 Fairtrade	 myBMP	 Organic Production オーガニック・プロダクション
一般情報					
目的	ベター・コットンを持続可能な製品の主流にしていけることにより、市場を変革すること。	グローバルな繊維産業のためのサステナブル・アフリカン・コットン	取引を公正に、小規模生産者とその従業員に力を与え、持続可能な生活を営む。	自然環境、人々、地域コミュニティを維持しながら高品質で高収量の繊維を生産すること。	土壌、生態系、そして人々の健康を維持すること。
概要	BCIは主流の綿花生産のサステナビリティの改善に取り組んでいる。ベター・コットンと認められるためには、栽培者は最低限の環境的、社会的要件を満たさなければならない。認証プログラムには、継続的に改善していくことが重要なポイントである。	アフリカで作られた綿花は、アフリカの規模農家の生活状況を奨励するAid by Trade Foundation (ABTF)のイニシアチブである。CmiAと認められるためには栽培者は最低限の環境的、社会的要件を満たさなければならない。	適切な価格、適切な労働環境、農家にとってより公正な取引を実現することで、フェアトレードは取引の美点を高める。フェアトレードのスタンダードは農家に、民主的な生産者の組織や環境に配慮した農業プラクティスを進めていくことを求める。フェアトレードはフェアトレード・ミニマム・プライスやフェアトレード・プレミアムを確保するものにする。	myBMP(ベスト・マネジメント・プラクティス)プログラムはオーストラリア綿花産業の環境的、社会的スタンダードである。全ての認証を達成するためには、栽培者は土壌の質、水管理、自然資源、害虫管理、エネルギー効率、従業員の健康と安全といった10モジュールにわたる400以上のチェックリスト項目を満たさなければならない。	オーガニックコットンは輪作システムで栽培されている。
生産					
生産国 (記載がない限り 2015/2016年度)	中国、インド、イスラエル、マダガスカル、マリ共和国、モザンビーク、パキスタン、セネガル、南アフリカ、タジキスタン、トルコ、アメリカ ・さらに11ヶ国でスタンダードが設定された。	カメルーン、コートジボワール、エチオピア、ガーナ、モザンビーク、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ	ブルキナファソ、インド、キルギスタン、タジキスタン、セネガル、ウガンダ	オーストラリア	ベナン、ブラジル、ブルキナファソ、中国、エジプト、インド、イスラエル、キルギスタン、マリ、パキスタン、ペルー、セネガル、タジキスタン、タンザニア、タイ、トルコ、ウガンダ、アメリカ
繊維生産 2015/16年度 (メトリック トン)	25,13,000	2,80,814	43,481	71,400	1,07,980
綿花の総栽培量のマーケットシェア (2015/2016年度)	11.93% (2015)	1.33%	0.21%	0.28%	0.51%
生産高成長率 (2014/15年から 2015/16 年度)	28% 増加	18% 減少	190% 増加	79% 増加	4% 減少
	2020年までに綿花総生産量の30%を目	増加が予測される	増加が予測される	増加が予測される	増加が予測される (85,671ヘクタールがオーガニ



# ベター・コットン・イニシアチブ (BCI)

ベター・コットン・イニシアチブ (BCI) は、世界最大の農場レベルの綿花の持続可能性プログラムです。BCIは、持続可能な主流商品としてベター・コットンを開発することにより、綿花生産の変革を目指しています。BCIはベター・コットン・スタンダード・システムを運営している。

ベター・コットン・スタンダード・システムには6つの要素がある。

- 1.原則と基準**：ベター・コットンのグローバルな定義を提供する
- 2.能力開発**：農家がベター・コットンを栽培できるようにするための支援とトレーニング。
- 3.保証プログラム**：継続的な改善を主眼に置いた、定期的な農場の評価と結果の測定。
- 4.生産物流管理**：ベター・コットンの供給と需要をつなげる
- 5.要求の枠組み**：メンバーが正確なコミュニケーションができるようにするガイドライン。
- 6.結果と影響**：ベター・コットンが意図した影響を確実に提供できるように進捗状況を測定する。

コットン・メイド・イン・アフリカ (CmiA)、myBMP、Algodão Brasileira Responsável (ABR) は、ベター・コットン・スタンダード・システムに対してしっかりとベンチマークされており、BCI傘下で、BCIと同等のものとして受け入れられている。





## フェアトレード (Fairtrade)

従来の取引システムに変化を起こすことによって、フェアトレード は、公正な取引条件を推進し、市場へのアクセスを拡大することによって、不利な状況にあった小規模農家に恩恵をもたらすことを目指している。フェアトレードの目標は小規模農家を支援して、持続可能な生活を促進することである。

フェアトレードの体制は、フェアトレード・インターナショナル、フェアトレードを推進する各国の組織、生産者ネットワーク、生産者とサプライチェーンを監査しフェアトレードのスタンダードを遵守しているかを確認する独立認証機関のFLOCERT から成っている。フェアトレードコットンの農家はフェアトレード 最低価格を受け取っている。

これは、持続可能な生産のコストをカバーするためのもので、変動する市場価格に対するセーフティネットの役割を果たしています。フェアトレード プレミアム は、売値に加えて支払われるもので、農協が民主的に投資を決め、農家への追加の収入となる。この収入が、彼らのビジネス、家族、コミュニティのために使われ、多くの場合、教育やヘルスケア、収穫量や農産物の質の向上に繋がる農業向上に使われます。その他のサポートとして、事前融資、貸付金へのアクセス、長期契約などを提供している。

フェアトレード スタンダードは自然と人々の環境を保護するために策定され、農薬、水の使用、土壌浸食、遺伝子組み換え作物、生物多様性、エネルギー使用、カーボンフットプリントの削減などについて、厳しいルールを設けている。フェアトレードは有機農法を推奨しており、フェアトレードコットンの75%がオーガニックの認証を受けている。



# オーガニック・コットン

## 定義

オーガニック・コットンは有機農法スタンダードに基づいて生産され認証されたものです。有機農法は土壌の肥沃度を改善・維持し、生物学的に多様な農業を推進し、有毒で分解されにくい化学物質の農薬や肥料、および遺伝子組み換え種子の使用を禁止します。

## 有機農場のスタンダード

オーガニックインターナショナルは、有機農法の包括的な機関であり、有機農法の「family of standards」に関する情報を提供しています。農場レベルでオーガニック・コットンに最も関わっているオーガニック基準には、USDA – National Organic Program (NOP)、EU Organic Regulation、インドのAPEDAのNational Programme for Organic Production (NPOP) などをはじめとした様々なスタンダードがあります。

## オーガニック生産物流管理および繊維加工のスタンダード

テキスタイル・エクスチェンジ (Textile Exchange) のOrganic Content Standard (OCS) およびGlobal Organic Textile Standard (GOTS) は、農場から最終製品まで生産物流管理の保証を提供する自主的なスタンダードであり、GOTSは織物加工の社会的および環境的基準も要求しています。





サステナブルコットン・コトンの必要性

## Cotton2040

国際NGOであるフォーラム・フォー・ザ・フューチャーが推進するグローバルなコトンのイニシアティブ

気候変動がますます激しくなる世界で、コットン産業のシステムがレジリエンスを発揮するためには、大幅な、場合によっては抜本的な変革が必要。

これは、サプライチェーン全体の関係者が関わり、体系的で協調的なアプローチによってのみ達成可能。

コットン2040は、持続可能な世界のコットン産業へのシフトをサポートするために存在する競合他社も含むマルチステークホルダーのイニシアティブ。



The Global Alliance for Sustainable Supply Chain



FORUM  
FOR THE  
FUTURE

ASSC

The Global Alliance for Sustainable Supply Chain





# サステナブル・コットン をより多く調達するための 実践ガイド

あなたの会社はサステナブル・コットンを調達しようとしていますか？

コットン・アップ・ガイドが、企業の経営層や調達チームの目標の達成のお手伝いをいたします。この対話型のガイドでは、サステナブル・コットンに関する3つの大きな質問に答えます。なぜそれが重要なのか？何を知り、何をする必要があるのであるのか？どのように始めるのか？

以下のボックスから知りたい内容を選んでください。もしくは、**お問い合わせ**にアクセスして詳細をご覧ください。

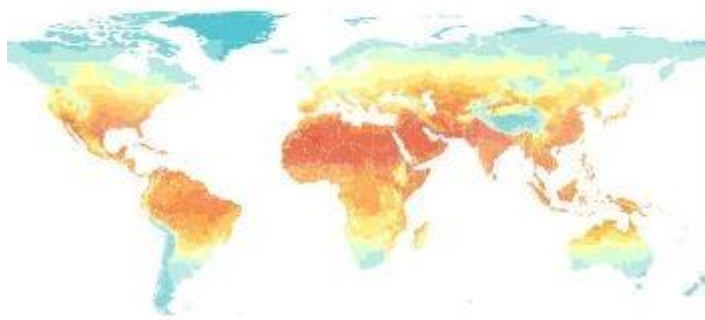


## サステナブルコットン・コトンの必要性

# Cotton2040

## 3つの協働のワークストリームを通じて変革を推進する

2020年から2022年にかけて、Cotton 2040とそのパートナーは、相互につながりをもった、連続的な3つのワークストリームを提供する。これはサステナブル・コットンを主流にするための体系的転換をもたらす最も大きな可能性を持っている。



1

気候変動を理解し、それに適応するためのセクター全体の協働の創出



2

ブランドや小売業者によるサステナブル・コットンの調達量の増加



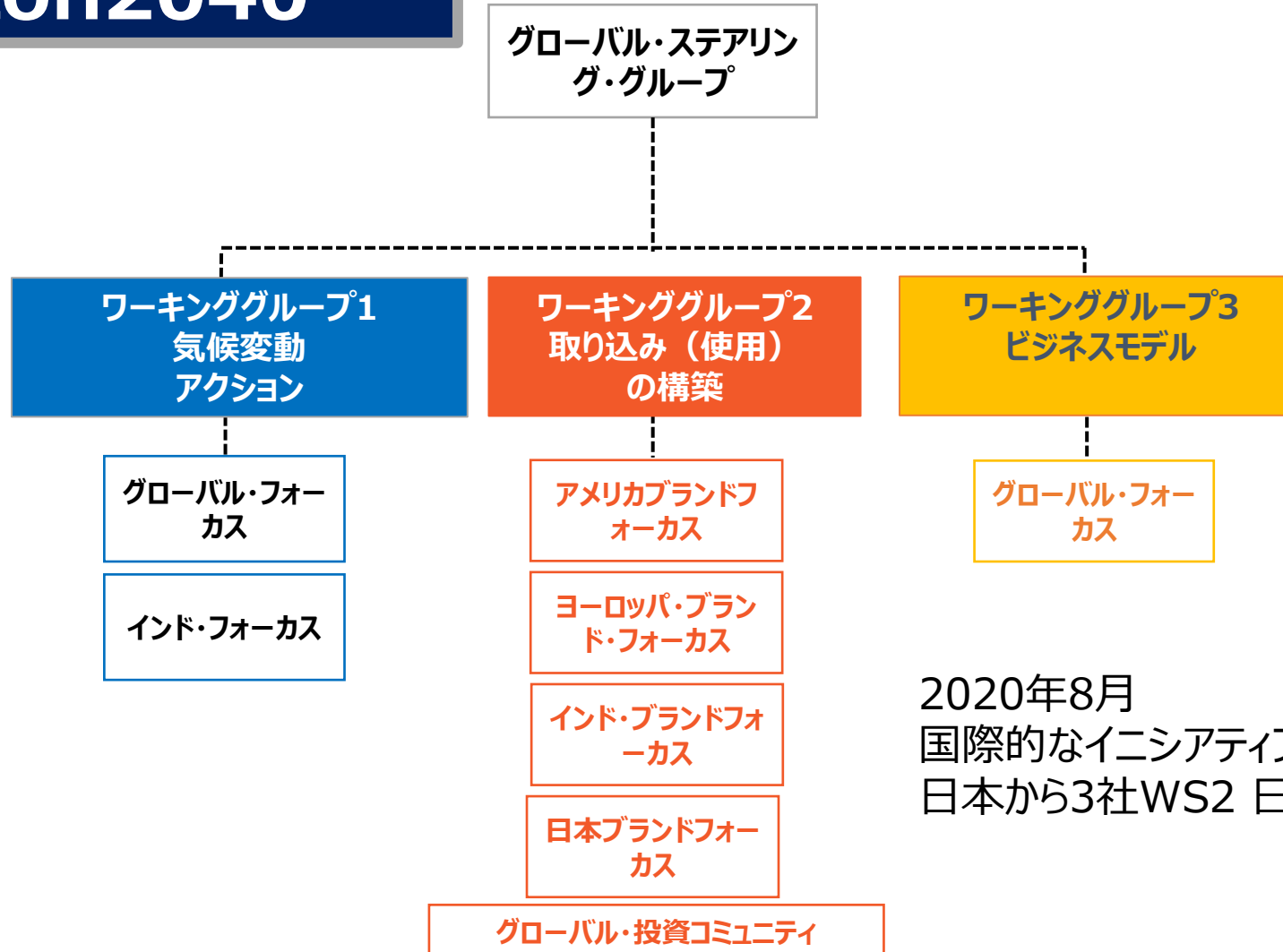
3

持続可能なコットン産業を可能にする持続可能なビジネスモデルの拡大

# サステナブルコットン・コトンの必要性

## Cotton2040

### ワーキンググループで行動を起こす



2020年8月  
国際的なイニシアティブであるCotton2040 には  
日本から3社WS2 日本ブランドフォーカスへ参加



## 2 ブランドや小売業者によるサステナブル・コットンの調達量の増加

### ブランドが関与するメリット

サステナブル・コットンの調達を増やすことは、ビジネスの将来を確保するのに役立つ。

この3年間のプログラムは、サステナブル・コットンを調達するための重要なステップに沿って、この取り組みを始めたブランドをサポートし、ガイドする。

### 参加する

持続可能でレジリエンスのあるコットンの産業の創出を支援する運動に参加し、供給の将来性を確保する。

>1

サステナブル・コットンをより多く調達するための最初の重要なステップを踏むことを**コミットメント**する。コットン2040のブランドの宣言。



>2

コットン2040を使用し、現在の調達のプラクティスを**基準線**とする。これはプロジェクト全体の進捗状況を追跡するのに役立つ。



>3

サステナブル・コットンの事例を社内だけでなく、投資家などの外部のステークホルダーにも伝えるための情報等の資源を受け取る



>4

**キャパシティ・ビルディング** オーダーメイドのワークショップやウェビナーを含む、オーダーメイドの学習とエンゲージメントプランに参加する



>5

明確な目標と目標を達成するためのロードマップを設定することにより、ブランドが成功戦略を策定するのを支援するプロジェクトの情報等の資源への**アクセス**



>6

あなたのサステナブル・コットンの取り組みの進捗状況を評価し、KPIで堅牢なロードマップを開発するための**進捗状況の追跡**



>7

**ブランド認知** ブランドは、サステナブル・コットンのより多くの調達、自社の製品の紹介、主要ブランドのより広いコミュニティへの参加における成功事例を売り込むことができる



サステナブルコットン・コトンの必要性

# Cotton2040

サポート・パートナー



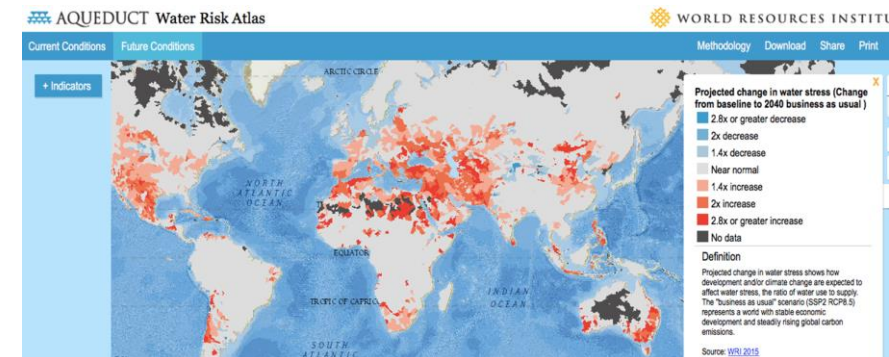
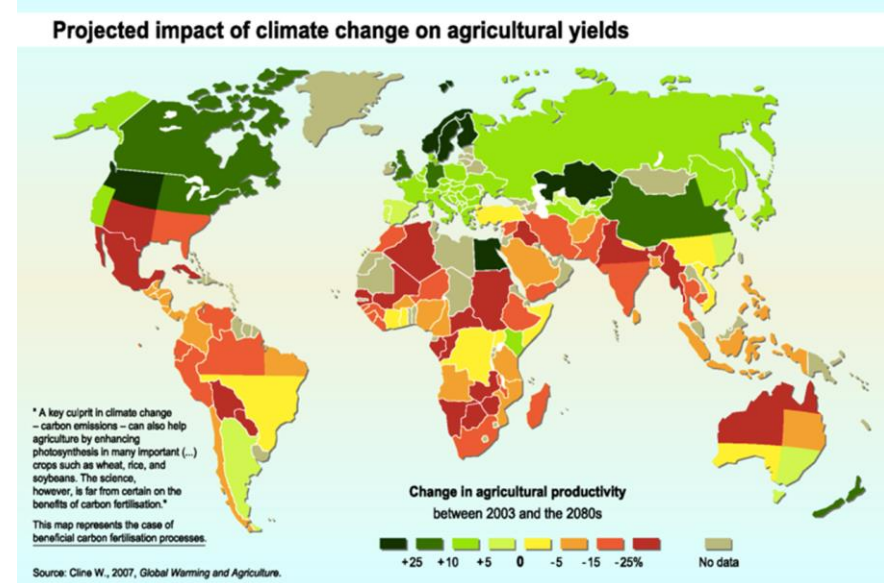
ASSC The Global Alliance for Sustainable Supply Chain



## コットンに関する原材料調達の課題

企業がコットンの原材料調達を行う上で、サステナブル・コットンを推進していないことの原因として以下の要因についての理解不足がある。

- 外部要因の変化
- 世界的な人口増加
- 気候変動の進行
- 食料需給の逼迫
- 森林破壊の進行
- 降雨量の変化による水の枯渇
- 貧困、児童労働、強制労働
- 原材料の確保が困難（サステナビリティに配慮した商品の争奪）
- 消費者の意識の変化
- NGOからの要請増大
- 企業の社会的責任の拡大
- 投資家の関心の高まり



# 日本におけるコットンのイニシアティブの立ち上げ

Cotton2040とザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン（ASSC）は、日本のブランド/小売企業、コットンに関係する企業・団体に対してサステナブル・コットンを推進するための協働を開始しています。

- 日本のコットン関係者へのコットン・アップ・ガイドの活用を促進する。
- 日本におけるコットンのイニシアティブの立ち上げ
- コットンのサプライチェーンに関わる全ての関係団体・企業が、環境・社会課題を理解し、日本特有の課題を含む課題解決を行う。



*The Global Alliance for  
Sustainable Supply Chain*





## サステナブル・コットンの調達を増加による企業のメリット

### 企業の社会的責任 に対するブランド のポジショニング を確立する

#### メリット

- 顧客ロイヤリティの構築
- ブランドの差別化
- 投資家に認められる
- 人材を引き付け、維持する

[ケーススタディを読む](#)

### 評判悪化のリスク をなくす

#### メリット

- サプライチェーンのスキャンダルによる損失を回避
- 批判への回答
- 原材料の持続可能性ランキングで良いスコアを取る

[ケーススタディを読む](#)

### 良い影響を宣伝す る

#### メリット

- 目に見える結果を顧客やその他のステークホルダーと共有する
- 法的要件を満たすだけでなく、それ以上の独自に定めた要件を達成する

[ケーススタディを読む](#)

### 競合他社と足並み を揃える

#### メリット

- 顧客の信頼を構築/維持する
- 大きなムーブメントに参加できる
- 自社よりもっとサステナビリティに配慮しているブランドと比較されることが避けられる

[ケーススタディを読む](#)

### 投資家の関心を維 持し高める

#### メリット

- 投資を増やす
- コストの削減
- リスクの低減

[ケーススタディを読む](#)

### 透明性を高める

#### メリット

- あなたの会社の製品の信頼性を構築する
- ステークホルダーに対する説明責任を果たす

[ケーススタディを読む](#)

### 長期的な調整力 (レジリエンス) と供給の確保

#### メリット

- 調整力（レジリエンス）強化とリスク軽減

[ケーススタディを読む](#)

### 体系的な持続可能 性へのコミットメ ント

#### メリット

- 野心的なシステム変革の基盤を築く
- 幅広い活動で積極的な役割を果たす

[ケーススタディを読む](#)

サステナブル・コットンの調達を増加することで、企業にどのようなメリットがあるか？

サステナブル・コットンを調達すると環境的・社会的なメリットがあるだけでなく、サステナブル・コットンに完全移行するか、購入量を大幅に増やすことで、企業にとって強力なビジネス上のメリットがある。



## 企業がサステナブル・コットンの調達を増加することによる農家へのメリット

すべてのサステナビリティのスタンダードは、農家に様々なメリットをもたらす。  
スタンダード、コットンの栽培地、スタンダードの内容によって、農家へのメリットは異なる。

### インプット（投入量）の削減

#### メリット

- 農家と労働者の健康を改善
- 地域の生態系、特に水系の健全性を改善
- 投資コストを削減する
- 持続可能な農業技術の能力を構築

[ケーススタディを読む](#)

### 変化する状況への調整力（レジリエンス）

#### メリット

- 調整力（レジリエンス）を高めるトレーニング
- 長期的に土地の生産性を高める
- 将来の世代の農家に利益をもたらす

[ケーススタディを読む](#)

### プレミアムなコットンは、生活とコミュニティを改善する

#### メリット

- 多くの綿花のスタンダードは、農家が割増料金（プレミアム）を得る機会をもたらす
- 地域社会が農家の収入増加を感じる波及効果
- 男女共同参画の支援-農業コミュニティでの女性の労働機会の改善
- 児童労働および強制労働の防止

[ケーススタディを読む](#)

### トレーニングの機会

#### メリット

- 小規模農家の教育とスキルアップ
- 長期的に持続可能な農業を行う能力育成

[ケーススタディを読む](#)





*The Global Alliance for  
Sustainable Supply Chain*

**ご清聴ありがとうございました。**

**下田屋 毅 (Takeshi Shimotaya)**

**一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サ  
ステイナブル・サプライチェーン 代表理事**

**The Global Alliance for Sustainable Supply Chain,  
Executive Director**

**E-mail Address: [shimotaya.t@g-assc.org](mailto:shimotaya.t@g-assc.org)**

**Website: <http://g-assc.org/>**

**ASSC**

**The Global Alliance for Sustainable Supply Chain**